

# 経済動向調査のまとめ

令和5年度 第2四半期 (7月~9月)

## 1. 兵庫県の景気動向

(令和5年10月18日発表 産業労働部地域経済課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約)

### ① 景況

現状(良い-悪い) 構成比(%ポイント)

区分	R4.12	R5.3	R5.6	R5.9	R5.12(予測)
全産業	2	5	9	10	9
大企業	10	6	13	21	20
中堅企業	3	11	11	15	6
中小企業	▲3	2	5	2	5
うち製造業	▲3	▲3	▲1	6	7
うち非製造業	7	17	20	15	11

出所：県内企業短期経済観測調査(日本銀行神戸支店)

企業の業況判断は、足もと改善し、先行きも横ばい圏内を見込んでいる。

### ② 需要

項目	R3年度	R4年度	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
商業販売額:億円	18,016	18,529	1,517	1,567	1,543	1,711	1,615
(前年度比増減率%)	(+0.3)	(+2.8)	(+3.7)	(+3.1)	(+2.5)	(+5.3)	(+4.2)
乗用車販売台数:台	141,627	144,966	11,868	11,461	13,587	12,843	11,247
(前年度比増減率%)	(▲7.3)	(+2.4)	(+21.7)	(+32.9)	(+31.2)	(+15.1)	(+20.1)
新設住宅着工戸数:戸	29,844	31,911	2,685	2,376	2,180	2,367	2,796
(前年度比増減率%)	(▲2.3)	(+6.9)	(▲18.6)	(+12.7)	(▲15.7)	(▲5.7)	(▲0.0)
神戸港輸出額:億円	61,512	73,698	6,373	5,487	6,489	6,456	6,067
(前年度比増減率%)	(+23.6)	(+19.8)	(+14.1)	(+0.5)	(+1.4)	(+7.4)	(+0.7)

出所：商業動態統計(経済産業省)、新車登録速報(日本自動車販売協会連合会兵庫県支部)、軽自動車新車届出状況(兵庫県軽自動車協会)、住宅着工統計(国土交通省)、神戸港貿易概況(神戸税関)(商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース)

項目	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(計画)
設備投資額(前年度比増減率%)	▲1.2	2.4	▲13.4	8.3	1.3
(H27年度比:H27=100)	(113.9)	(116.6)	(101.0)	(109.3)	(110.8)

出所：県内企業短期経済観測調査(日本銀行神戸支店)

個人消費は、回復に向けた動きが広がっている。

輸出は、増勢が鈍化している。設備投資は、増加計画にある。

### ③ 生産

項目	R3年度	R4年度	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7
鉱工業指数:H27=100	93.9	96.5	92.7	94.2	91.7	93.0	93.1
(前月比増減率%)	(+ 0.9)	(+ 2.8)	(▲ 3.5)	(+ 1.6)	(▲ 2.7)	(+ 1.4)	(+ 0.1)

注)月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

出所：兵庫県鉱工業指数（県統計課）

生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい傾向にある。

### ④ 雇用

項目	R3年度	R4年度	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8
有効求人倍率(季節調整値):倍	0.94	1.03	1.03	1.01	1.00	0.99	0.99
新規求人数(原数値):人	28,235	29,795	28,822	26,216	29,269	28,891	26,712
(前年度比増減率%)	(+ 5.3)	(+ 5.5)	(▲ 4.6)	(▲ 2.3)	(▲ 5.3)	(▲ 4.9)	(▲ 5.7)
雇用者所得計:億円	5,340	5,510	4,990	5,117	7,873	6,588	-
(前年度比増減率%)	(▲ 1.4)	(+ 3.2)	(+ 5.5)	(+ 7.8)	(+ 3.3)	(+ 5.0)	(-)

注)有効求人倍率の年度値は原数値、雇用者所得計の年度値は年平均 出所：一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

有効求人倍率は、前月と同水準であった。雇用者所得は、全体として改善の動きがみられる。

### ⑤ 金融

項目	R3年度	R4年度	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9
企業倒産件数:件	329	368	45	49	32	45	48
(前年度比増減率%)	(▲16.9)	(+11.9)	(+136.8)	(+81.5)	(+3.2)	(+95.7)	(+60.0)
企業倒産負債総額:億円	294	649	640	30	8	40	5,869
(前年度比増減率%)	(▲ 50.1)	(+120.5)	(+401.1)	(▲27.8)	(▲45.1)	(+5.4)	(+11,340.6)

出所：兵庫県企業倒産状況（東京商工リサーチ神戸支店）

倒産件数は、前年を上回った。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、持ち直している。

個人消費は、回復に向けた動きが広がっている。設備投資は、増加している。住宅投資は、持ち直している。公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、増勢が鈍化している。

こうした中、生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回って推移している。

（令和5年10月13日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」）

## 2. 地域における景気動向

(但陽信用金庫 景気動向調査レポートより 2023年 7~9月期)

※ D.I. (Diffusion Index)とは 「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数です。

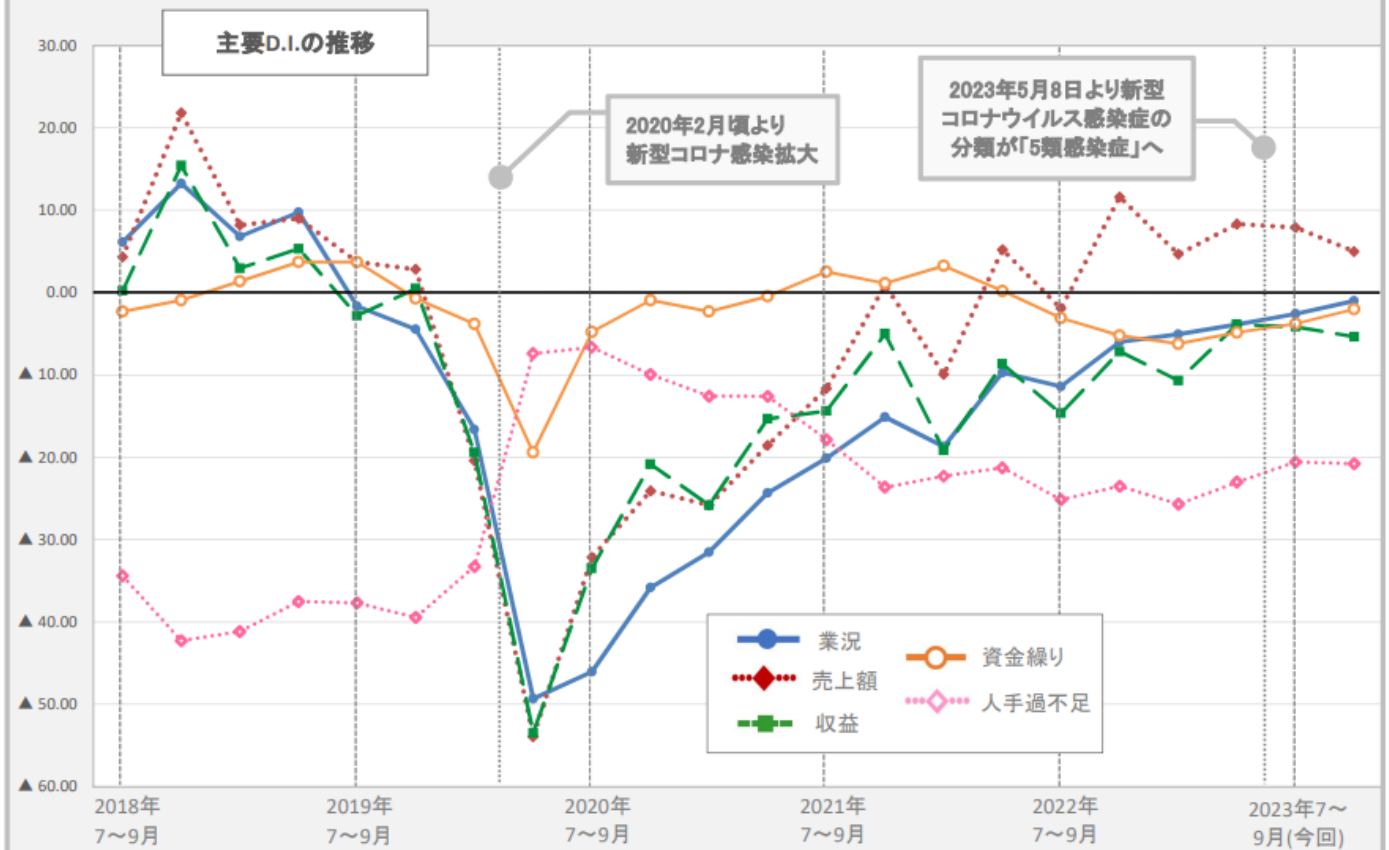
### 営業地区内の景気概況と主要D.I.

今期の全地域・全業種における業況D.I.は▲2.57とマイナス域ながら前期から1.31ポイント上昇しています。売上額D.I.は前期より低下したものの4期連続でプラス域、収益D.I.は若干低下し、資金繰りD.I.・人手過不足D.I.はマイナス域ながら改善しています。来期は業況D.I.・資金繰りD.I.が改善、売上額D.I.・収益D.I.・人手過不足D.I.は悪化する予想となっています。

コロナの回復で、特に飲食・宿泊・レジャーなど対面型サービスへの需要が増加しているものの、人手不足を背景とした供給制約の発生や物価高の影響から、景気の回復ペースは引き続き緩やかに推移すると思われます。

一方で、円安効果によるインバウンド需要の継続に加え、人手不足を解消するための設備投資・職場環境の改善・賃上げ効果等、各企業の時間をかけた取組みを継続することが、景気の上げにつながると期待されます。

D.I.	2023年4 ~6月期	2023年7 ~9月期 (今回)	前期比	2023年10 ~12月期 (予想)	今期比
業況	▲ 3.88	▲ 2.57	↑	▲ 0.99	↑
売上額	8.32	7.91	↓	4.98	↓
収益	▲ 3.87	▲ 4.15	↓	▲ 5.37	↓
資金繰り	▲ 4.84	▲ 3.75	↑	▲ 1.99	↑
人手過不足	▲ 23.02	▲ 20.55	↑	▲ 20.79	↓



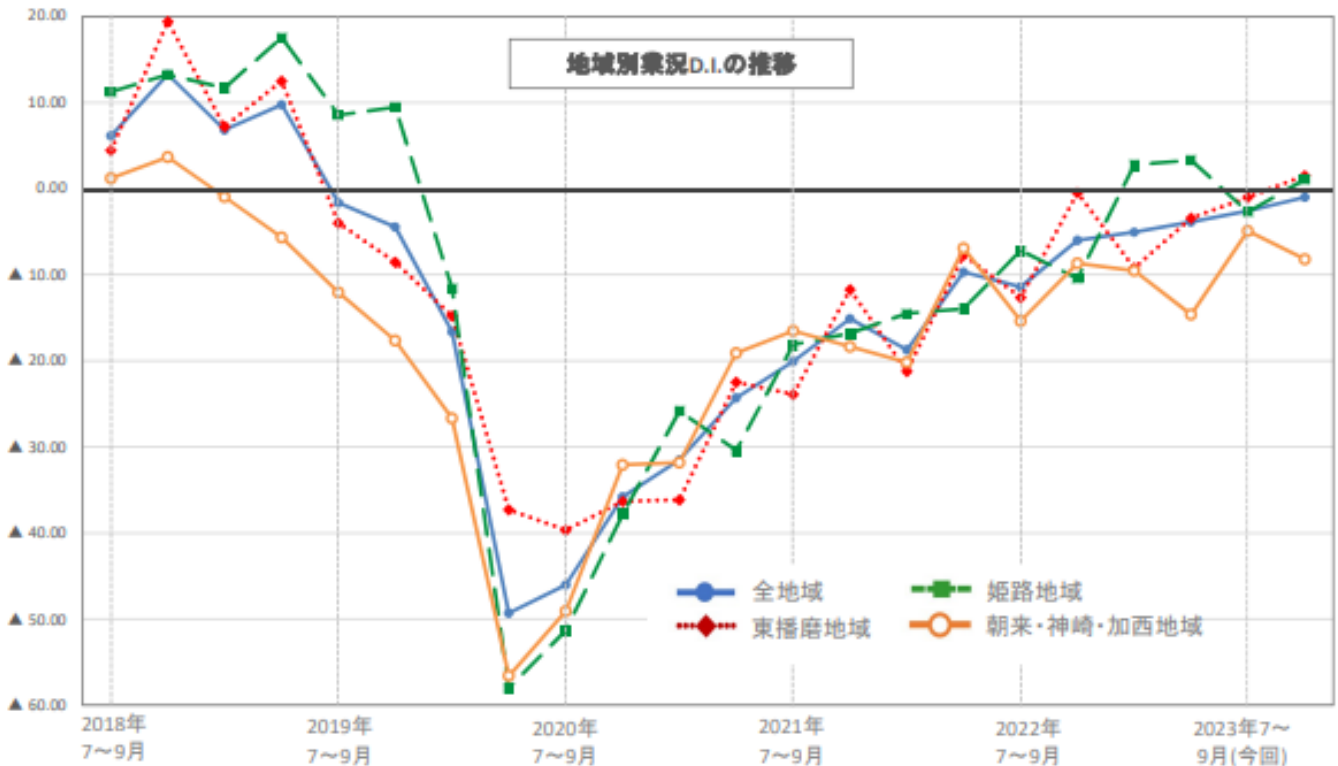
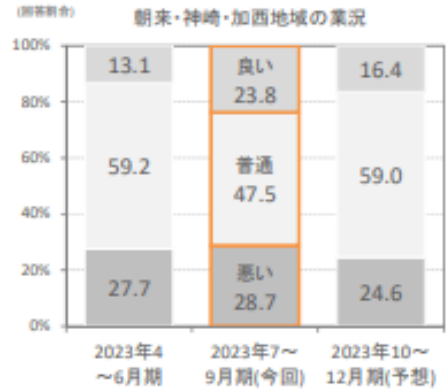
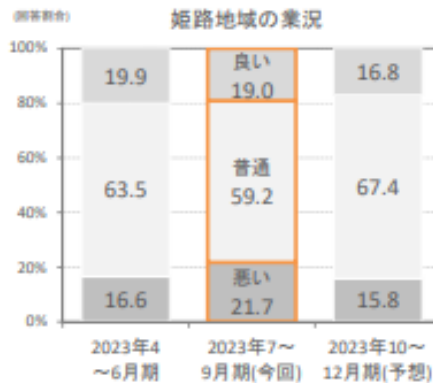
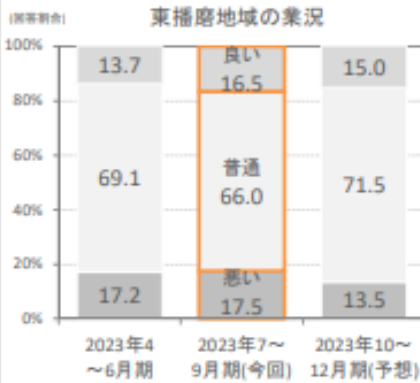
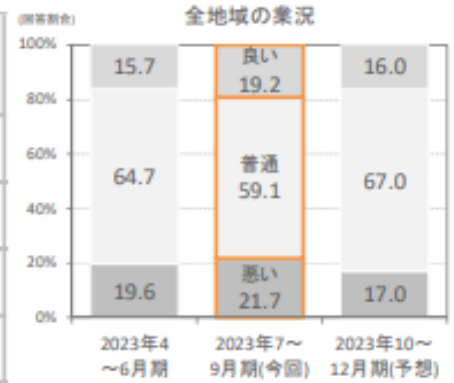
(回答企業 506社) (回答率 98.1%)

## 営業地区内地域別業況D.I. >>

今期の地域別業況は、東播磨地域が▲ 1.00 と 2.43 ポイント上昇、姫路地域が ▲2.72 と 6.03 ポイント低下しマイナス域に、朝来・神崎・加西地域は▲ 4.92 と 9.70 ポイント上昇しています。来期は東播磨地域、姫路地域で改善、朝来・神崎・加西地域は悪化する予想となっています。

### 地域別業況D.I.の回答割合

地域 (回答数)	2023年4 ~6月期	2023年7~ 9月期(今回)	前期比	2023年10~ 12月期(予想)	今期比
全地域 506	▲ 3.88	▲ 2.57 ↑		▲ 0.99 ↑	
東播磨地域 200	▲ 3.43	▲ 1.00 ↑		1.50 ↑	
姫路地域 184	3.31	▲ 2.72 ↓		1.09 ↑	
朝来・神崎 加西地域 122	▲ 14.62	▲ 4.92 ↑		▲ 8.20 ↓	



## 営業地区内業種別業況D.I. >>

業種別では、製造業・サービス業・不動産業が前期から改善し、小売業・建設業は悪化、卸売業は横ばいの実績となりました。来期は、製造業・サービス業・小売業・建設業が改善、不動産業・卸売業が悪化する予想となっています。

業種	2023年4 ～6月期	2023年7～ 9月期(今回)	前期比	2023年10～ 12月期(予想)	今期比
製造業	▲ 1.07	0.00	↑	3.30	↑
サービス業	▲ 13.92	▲ 6.49	↑	▲ 3.90	↑
不動産業	6.90	10.00	↑	6.67	↓
小売業	▲ 16.18	▲ 16.42	↓	▲ 8.96	↑
卸売業	2.08	2.08	→	▲ 8.33	↓
建設業	0.96	▲ 0.98	↓	0.00	↑

## 業種別業況D.I.の回答割合

